

新宮戸八景

Eight New Scenic Spots on Miyato Island



宮城県東松島市

新宮戸八景

- ① さとはま縄文の里史跡公園(里浜地区)
じょうもん さと し せき こう えん さとはま ちく
- ② 医王寺薬師堂(里浜地区)
い おう じ やく し どう さとはま ちく
- ③ 大高森(里浜地区)
おお たか もり さとはま ちく
- ④ 嵯峨見台(室浜地区)
さ が み だい むろはま ちく
- ⑤ 儀兵衛・多十郎記念碑の丘(室浜地区)
ぎ へ え た じゅうろう き ねん ひ おか むろはま ちく
- ⑥ 大浜唐船番所跡(大浜地区)
おお はま から ふね ばん しょ あと おおはま ちく
- ⑦ 新浜岬(月浜地区)
しん はま みさき つきはま ちく
- ⑧ 稲ヶ崎公園(月浜地区)
いな が さき こう えん つきはま ちく

新宮戸八景とは？

新宮戸八景とは、平成21年(2009年)に宮戸コミュニティ推進協議会のまちづくり委員会が中心となり、宮戸村八景にならい選定された8か所の自慢の景勝地である。観光振興を願い設定された。さらに、平成29年(2017年)には、それぞれに昔から言い伝えられてきたお話をまとめた「新宮戸八景物語」の絵本や紙芝居が発行されている。

① さとはま縄文の里史跡公園 (里浜地区)

奥松島縄文村歴史資料館から徒歩で約10分。里浜貝塚は縄文時代前期から弥生時代にかけてのムラの跡で、日本最大級の規模(東西約640m・南北約200m)をもつ貝塚である。

史跡公園入口には里浜貝塚貝層観察館があり、剥ぎ取った貝塚の層を直に見ることができ、動物の骨や食べかす、こわれた生活道具などから2500年前の里浜縄文人の四季の暮らしを知ることができる。埋葬されていた犬の骨をもとに復元された縄文犬も展示されている。

縄文工房では体験学習のメニューもあり、土器づくりや勾玉づくりを体験することができる。

また、展望台の東屋からの景観も素晴らしく、縄文人が見たままの海が見られ、春には菜の花、夏には蕎麦の花が段々畑に広がっている。

その裏には御神木の大きなタブノキが天高くそびえ公園を見守っている。



春には菜の花が咲きほこる。



里浜貝塚貝層観察館



縄文人も見た海



タブノキ (梔の木)

クスノキ科の常緑植物。樹高15~20m。東北中南部以南の暖地の海岸地に自生する。クスノキと似ていて見間違えることから『たぶらかす木』が転じたのが名前の由来という説もある。別名、イヌグスとも言われる。

② 医王寺薬師堂 (里浜地区)

大高森の北西、薬師山(標高68.3m)の中腹に位置する。大高森登口(駐車場)からおよそ0.6km、大高森観光ホテル裏の遊歩道を15分程歩くと釣鐘堂や薬師堂に至る。ご本尊は慈覚大師作と伝えられる薬師如来と、日光・月光・十二神将・不動明王・毘沙門天王の仏像が奉安されている。石段の下にある鐘楼は、延宝7年(1679年)に田村右京の娘が寄進したものとされている。

平成24年(2012年)11月には、名称を「医王寺薬師堂」と改め、建造物が市指定文化財として登録された。



厨房とされる岩屋。隣には当時使用されていた井戸も現存している。

薬師堂までの途中に岩屋があり、これは伊達政宗がこの島に猟に来て射止めた鹿を調理した厨房と云われる。政宗が猟で獲た鹿肉を煮ようとしたところ、老僧が現れ殺生禁断の地であることから調理を禁じたが政宗は受け入れなかった。しかし鹿肉は煮えず、海中に投棄し仙台へ戻った。後日、家来に命じて狩猟の衣を着たところ、衣はすべて灰となり、以後政宗は薬師如来の靈験あらたかなるを知り、自分の眼病治療のためこの地を訪れ祈願し平癒したという。以後政宗は大いに信仰を深くし、この薬師山中腹に堂宇を建立したものとされる。医王寺住職を別当とし、寺領として田や畑、山林を寄進し、屋根に家紋を入れ代々大切にされた。現在の薬師堂は1600年後半に建て直されたものと考えられている。



牡蠣養殖棚

この場所からは松島湾に浮かぶ島々や牡蠣養殖棚が望め、また、夕日の沈む時の景観も素晴らしい。薬師堂までの道のりも見所がたくさんあり、桜・藤・つつじ・紅葉など季節の色を楽しめる植物も多く点在している。これらは地元の方々が清掃・管理をしている。



釣鐘堂



5月には藤の花が見頃を迎える

おお たか もり さと はま ち く
③ 大高森 (里浜地区)

松島湾最大の島、宮戸島の中心部にそびえる山。宮戸島随一の高さである。登山口から急な坂を 15 分程登ると山頂に着く。松島の四大観として、大高森 (105.8m) の壮観、松島町の富山 (116.8m) の麗観と扇谷 (56m) の幽観、七ヶ浜町の多間山 (55.6m) の偉観がある。

大高森は往時、日本武尊が初めて登ったので大尊峯 (おおたかもり) と名付けられたと伝わっている。また、義良親王^{のりよし しんのう}や伊達政宗も大いにこの風景を賞賛したという。頂上展望台からの眺望地は、東に金華山、北に栗駒山、西に松島湾が船形の峰に広がり、雄大にして壮観である。



夕日に染まる松島湾



頂上展望台からの眺望



大高森薬師堂

大高森薬師堂

大高森の中腹には大高森薬師堂がある。これは当時の宮城県知事森正隆氏が建設したもので、室内には白木作りの薬師如来像が安置されている。伊具郡西根、高蔵寺本堂の修繕の際、この大柱(インド産の香椿木)で薬師如来、聖徳太子、三十三観音を造り、その薬師如来が大高森薬師堂に奉祀され、聖徳太子は松島扇谷に奉祀されており、三十三観音は県下至るところに奉祀されている。大正4年(1915年)竣工。令和元年(2019年)10月修復完了。



氏神様である雷神塔。
ここから御来光を
拝むこともできる。

④ 嵯峨見台（室浜地区）

標高 73.3mの観音山遊歩道を登って行くと、岩をえぐって造った潜ヶ浦^{かつががうら}聖観音堂があり、さらに上に登ると東屋がある。そこからは、目の前に黒島・花魁島が見え、遠くには石巻・田代島・網地島・牡鹿半島も望め、昔は右方面に嵯峨溪が一望できたが、現在は樹木が茂り見えにくくなっている。展望台までは階段がきつく、健脚向きに思える。



空気が澄む冬期は石巻方面への視界が開ける



頂上途中にある潜ヶ浦聖観音堂と鐘楼



小夜子姫伝説

野蒜の海岸から宮戸に渡るところに潜ヶ浦という湾がある、この湾は室浜に至る入海で東西南が三方山にかこまれ北の方が僅かに太平洋に連なり波がなぎさを打っている。

この入江を小舟に乗って室浜に渡る途中左手に当って岩石をえぐって造ったかのような社が目につく、ここに面白い伝説がある。何んでも「がつぺこ」(子供のこと)の時からあの観音様は昔通りになっているのだが、この海に綺麗な観音様が流れて来た、その観音様は小さな造りだったが、さて海から引き上げ申す段となると重くてやつのことで、その場所に引き上げ申したとのこと。聞くところによると、そのほら穴に小夜子姫というきれいな娘が住んでいた、子供もあり、立派なところの方だったそうだが、たった一人ここにたどりついて、毎日毎夜ただ一心に念仏ばかり唱えていた。

親子の縁は不思議なもので、このほら穴に尋ねて来た懐かしい夫や子供達だと知りながらも仏に入った身は今更俗界に帰ることも出来ず、小夜子姫は窮し果てて飛び込んだ。そこが今の鰐ヶ淵であった。そこから何年か後、きれいな観音様が流れて来たので、これこそ小夜子姫の霊であると祀ってきたそうだ。

【鳴瀬町史（改訂版）P1406より】

⑤ 儀兵衛・多十郎記念碑の丘 (室浜地区)

室浜地区の東側に位置する漁港を見下ろす高台にある。ここからの景色も素晴らしく、記念碑には寛政5年(1793年)に多十郎らが乗った若宮丸が石巻港から江戸に向かう途中、強風に襲われ遭難、12年もの苦難の旅の末、ロシアの船で世界一周をして帰国をしたことが記載されている。また、室浜への入口に建っていた「多十郎」の墓碑は、現在、宮戸里浜地区「観音寺」の境内に移されている。儀兵衛の正式な墓は見つからない。



室浜地区の漁港も眺めることができる

儀兵衛と多十郎

寛政5年(1793年)11月27日、米と木材を積んだ千石船・若宮丸に乗り、石巻港から江戸へ向かう途中、塩谷崎沖(福島県いわき市)で強風に襲われ遭難。船は操縦不能となり漂流し、翌年5月にロシア領アレウト列島(アリューシャン列島)の小島でロシアの役人に助けられ、その後各地を転々とし、都ペテルスブルグに着いた時には16名の乗組員が10名になっていた。一行はロシアの皇帝に会うことを許されるなどあたたかいもてなしを受け、その後帰国を希望した多十郎や儀兵衛、寒風沢の津太夫と左平の4名は12年後の文化元年(1804年)9月、ロシアの軍艦・ナジェージダ(希望)号で南アメリカ、カムチャッカなどを經由、世界一周をして帰国した。多十郎の生家は今も現存し、多十郎がロシア皇帝から授かった服がこの室浜の御子孫に大事に保管されている。また、仙台藩の蘭学者・大槻玄沢が彼から聞いた体験談をまとめた本、『環海異聞』が宮城県立図書館に残っている。

おお はま から ふね ばん しょ あと おお はま ち く
⑥大浜唐船番所跡（大浜地区）

大浜地区で最も高い標高76.6m、嵯峨溪の断崖絶壁番ヶ森に位置する。展望台からの景色も美しく、遠くに金華山、網地島、田代島、牡鹿半島が視界に入る。

仙台藩は寛永16年(1639年)江戸幕府の鎖国令により、石巻方面の全体が見渡せることから、ここに外国船の監視所を設置した。他にも気仙郡八ヶ森、本吉郡泊浜、牡鹿郡鮎川、亶理郡磯浜にも設置されている。黒船を発見したときの通報は昼は発煙信号、夜は火光信号や早馬、村の半鐘や寺の梵鐘太鼓をもってリレーすることとなっていた。

唐船番所は明治2年(1869年)1月に太政官布告によって廃止され、同月に大浜番所の締役・大阪民記(当時30才)が番所の下にある嵯峨溪の凌雲崖下の海に投身自殺した。今では景勝地となり、投身した湾を地元では『ダンボジロ』と呼んでいる。これは武士に対して村が『ダンボさま』と云い、死んだところを意味する。

昭和43年(1968年)、文化財保護委員・故三原良吉氏の指導によりここに碑が建てられ、永久に保存されることになった。



絶壁から嵯峨溪を見下せる。



大浜唐船番所跡碑

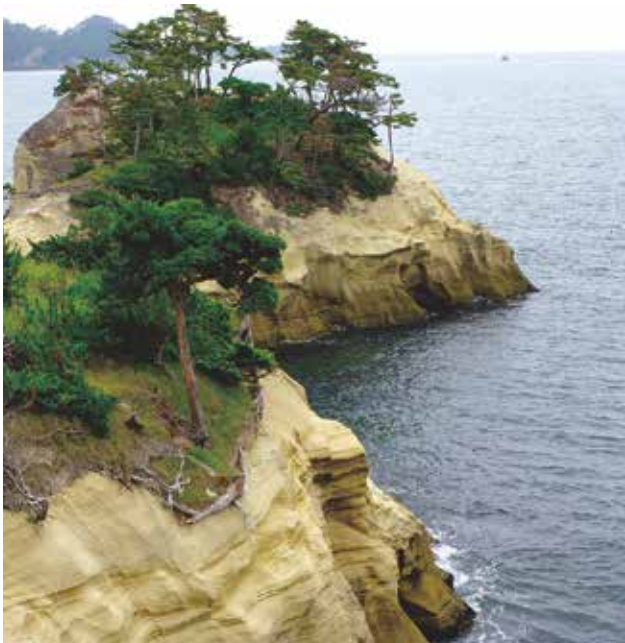
天然記念物(植物) むろ

大浜唐船番所跡から5分程降りたところに『お筆』と呼ばれ天然記念物に指定されている見事な老木が立っている。これは、建武2年(1335年)7月に鎌倉を脱した護良親王が奥州下向の途中に宮戸に上陸した浜を月浜(着浜)と称し、大浜も王浜であると云われ、筆に使われた『むろ』の木の枝を土中に刺したところ根付いたという。高さ9mの大木で、樹齢700年と言われている。



⑦ 新浜岬 (月浜地区)

月浜から大浜まで遊歩道が整備され、海岸線を散策できる。展望園地は新浜岬を眺められる地にある。月浜から展望園地を目指すと、竹林がトンネルのように続き、歩道を抜けると青々とした海が広がっている。新浜岬は、馬の背のように切り立った岬で足がすくむ。日当たりが良く、のんびりするところとして格好の場所である。



稲ヶ崎展望台から望む新浜岬

宮城オルレとは

宮城オルレは、宮城の美しい自然や歴史、食などの魅力を楽しみながら歩くトレッキングコースである。「オルレ」は韓国・済州島の発祥で、済州島の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」を意味する。その魅力は海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくりと楽しみながら歩くところにある。

奥松島コースは平成30年(2018年)に開設され、新宮戸八景のうち「さとはま縄文の里史跡公園」「大高森」「新浜岬」「稲ヶ崎公園」の4か所がコースに含まれている。

宮戸の植物

海岸沿いの岸壁の上や岸などに生育する海岸植物群落がみられる。

- 初夏(5月下旬から6月頃)
「マルバシャリンバイ」
宮戸島が北限とされている。
- 夏季(7月中旬から8月中旬)
「スカシユリ」オレンジ色の花が特徴である。
- 秋季(9月から11月頃)
「ハマギク」白い大きな花を咲かせる。



オルレの象徴“カンセ”

いな が さき こう えん つきはまちく ⑧ 稲ヶ崎公園 (月浜地区)

月浜海岸沿いに西へ向かうと、稲ヶ崎遊歩道の入り口がある。そこから階段が続き 150m程登ると展望地となっている。

最高所で標高 37.8m。眼下の透明な海に浮かぶ島々と相対し、ここからは蔵王・松島湾・牡鹿半島、東南に波島の灯台、西南遠くに花淵半島、そして晴れた日には福島県の相馬地方まで眺められ、奥松島を代表する景勝地である。

この周辺には椿の林があり、開花の時期は赤い花びらと新緑のコントラストが見事である。ここは、みやぎ椿の会が植栽したもので、震災前には宮戸の特産品おこしに地元で椿油を採取精製・管理し商品化していた。



展望地からの風景



展望地へ向かう椿の林



薄暮に包まれた海を望む

えんずのわり

この月浜地区には『えんずのわり』と呼ばれる小正月の行事があり、国の重要無形文化財に指定されている。

田畑を荒らす意地の悪い鳥や害虫を追い払い、一年間の豊作や無病息災を祈願する。

毎年 1 月 11 日から 16 日までの 6 日間、小学 2 年生から中学 3 年生までが参加し、五十鈴神社参道脇の岩屋でお籠りをして寝食を共にし、精進料理を食べながら鳥追いの行事をする。

14 日夜 7 時を過ぎる頃、松の棒を持って地面を突きながら「えんずのわり、とうりょうば(意地の悪い鳥をば)、かすらわって、すおつけて(頭割って塩つけて)、たあどうがあみさたあだみいれで(タト一紙にたたみ入れて)、えんぞがしまさながせ(エゾが島さ流せ)」と 3 回唱えて家々を回る。

16 日の朝には、竹の棒を持ち『ホーイ、ホーイ』と叫びながら神社境内の鳥を追い払い、全行事を終わる。



子どもたちがお籠りする岩屋

新宮戸八景ウォーキングMAP



Point 遊歩道の歩き方・注意点

- ▼靴は運動靴、登山靴がおすすめです。短時間の散策でもヒールの高い靴、サンダル、ビジネスシューズは向きません。
- ▼雨が降っている時、雨が降った後などは滑りやすくなっていますので、気を付けてください。
- ▼地図にない道は危険ですので、十分注意してください。
- ▼マムシ・スズメバチが生息しているので、気を付けてください。
- ▼山野草を持ち帰ることは条例で禁止されています。
- ▼特別名勝指定区域、国史跡であるため、落書き・テント設営・火気使用・ペットの放し飼いや穴掘りなどの行為は条例で禁止されています。
- ▼柵がないところもあるので気を付けてください。



平成28年7月 一部改訂
平成29年10月修正
平成30年2月修正
平成31年2月修正
令和2年2月修正

奥松島観光ボランティアの会
東松島市観光物産協会
協力：(独)国際協力機構東北支部 (JICA 東北)
発行：東松島市
修正増刷：東松島市観光物産協会

